



有限会社 吉田工業

vol.34

2025 年 10 月 15 日発行

私の 3カ年計画



企業が成長する原動力は、社員一人ひとりのステップアップに他なりません。
今回は、将来を担う若手のホープ3名に、自身のキャリアプランについてインタビュー。
それぞれの3カ年計画から、仕事に対する誠実な姿勢と、未来への展望をご紹介します。



工事一課
いそがい かずと
磯貝 一翔さん
入社年: 2024年

成長した点

入社当時よりも朝早く出勤し、その日のうちに
できることを済ませておくようになったこと。

朝をスムーズに過ごすことで、1日全体の仕事が円滑に進むよう
なっていると感じています。

もっと成長したい点

1人でできることを増やし、現場調整の際は
誰にでも的確に説明できるようになりたい！

私の3カ年計画

1年後

**現場調整を1人で
できるように**

わからないことは先輩に聞きますが、聞いただけで終わらず、しっかりと覚えて次に活かせるようにします。

2年後

**後輩に仕事を
教えられるように**

今は先輩に教えてもらえばかりですが、将来後輩ができたときに自分も同じように教えられるように、業務を完璧に覚えたいと思っています。

3年後

**次なる目標を
模索中**

どのような職人さんともうまく対話できる人を目指します。人によって個性があるため、相手の意見を尊重しながらも、うまく現場をまとめ、大人な対応ができるようになりたいと考えています。

理想の先輩

現場を総括している先輩に憧れています。その先輩は経験豊富で視野が広く、4つの現場をまとめられている姿は本当にすごいと思います。

Voice



上越事業所 班長

HOSHINO HISANORI 星野 久宣

入社5か月で50人超のチームを率いる班長に抜擢された星野久宣さん。世代も専門も異なる職人たちが集う未知の現場で信頼を築く武器にしたのは「対話」でした。星野さんの活躍の裏にある仕事の信念に迫ります。

これまでの経歴と、
有限会社吉田工業へ
入社されたきっかけを
教えてください。

前職はプラント工場で、施設の点検や修理に携わっていました。今の仕事と通じる部分もありますが、実際には新しいことばかりで日々勉強の連続です。入社の決め手は、求人パンフレットで紹介されていた「コミュニケーション」が取りやすい」という言葉でした。以前の職場では会話の機会が少なく、相談しやすい環境は重要だと考

えていました。実際、当社は社長自ら現場に入ることもあり、立場に関係なく話しやすい雰囲気、気が大きな魅力だと感じます。

入社5か月で
53名を率いる班長に
抜擢されたときの
心境はいかがでしたか。

2025年の1月からは茨城県にある東海原発の新設工事の現場で、班長を任されています。初めは、正直「自分にできるのか」という不安が大きかったです。現場は社員6名に加え、下請け会社の方々を含め総勢53名。メンバーは20代の若手からベテランまで、年齢や性別、専門分野もさまざまです。これほど大きなチームをまとめるのは初めての経験で、当初は先輩が指導してくれましたが、それでも手探りの毎日でした。

Voice

成長した点

先輩の指示を聞いて自身で考え、
実行する力が身についた

もっと成長したい点

仕事の流れを覚え、不明点をなくしていきたい！

私の3カ年計画



工事一課
いしだ あさひ
石田 旭さん
入社年：2025年

1年後

自分で考えて 動けるようになる

今は先輩と2人で仕込みを行っていますが、1人で完結できるようになりたいと思っています。動きに無駄が出ないよう、計画的に準備しながら取り組んでいるところです。

2年後

後輩に仕事を 教えられるようになる

今は先輩方に教えていただくばかりですが、2年後には自分がしてもらったように後輩を指導できるよう、まずは自身の業務を完璧に覚えます。

3年後

次なる目標を 模索中

現時点ではまだ3年先の具体的なイメージは持てていません。まずは1年後、2年後の目標を着実にクリアし、その先に自分のやるべきことを見つけていきたいと思っています。

理想の先輩

まつもと あつし
松本 厚さん

最近一緒に業務をすることが多く、さまざまな指導やアドバイスをいただいています。

成長した点

他社との打ち合わせや、工程管理を
まとめられるようになったこと

もっと成長したい点

管理側として、溶接のチェックや知識を深めること！

私の3カ年計画



工事一課
おだくら ともや
小田倉 知也さん
入社年：2024年

1年後

現場の作業員に 頼られる存在になりたい

まだ経験が浅く、現場で突発的な変更が生じた際に、その場で即決できないことがあります。目標達成のために、日頃からさまざまな図面や要領書を目を通すようにしています。

2年後

何でもできる 人になる

関わる機械系の職種など、さまざまな知識を深めていきたいと考えています。まずは必要な知識を把握するように努めています。

3年後

現場管理や事務作業を 1人でできるようになる

現在、2人で担当している現場管理や事務作業を、1人でも余裕をもって取り組めるようになるのが目標です。協力会社の方々とコミュニケーションをさらに深め、さまざまな情報を得ることで、新しい視点を身につけていきたいと考えています。

理想の先輩

いしかわ たつひこ
石河 達彦さん

仕事に関する知識が豊富な方で、石河さんに聞けば何でも解決します。私も石河さんのように、頼られる存在になりたいと思っています。

多様なチームを

まとめる上で、大切に

していることは何ですか。

何よりも、コミュニケーションを大切にしています。特に、仕事の合間や休憩中の喫煙所での何気ない会話が、私にとっては貴重な情報交換の場です。仕事の話だけでなく、世間話を交えながら関係を築くことで、いざというときに本音で話せる信頼関係が生まれると考えています。また、メンバーの方から、「このやり方でもいいか」と提案をいただく場面もあり、私自身が彼らのノウハウを勉強させてもらっています。自分から積極的に話を聞き、現場を見て学ぶことが大切です。こうした姿勢で対話を重ねることによって、チーム全体としても和気あいあいとした、相談しやすい雰囲気が生まれていると感じます。

仕事における信条や、

やりがいを感じる

瞬間を教えてください。

「手戻りのない仕事」を常に心がけています。班長になって間もない頃、溶接の出来栄が原因で元請けの検査に合格できず、工程が止まってしまった失敗がありました。やり直して二度手間になったこの経験から、品質の重要性和事前のコミュニケーションがいかに大切かを痛感しました。わずかな見栄えの違いが工期に影響するため、職人さんたちと「これはどう思う？」と気兼ねなく言い合える関係が不可欠だと、改めて感じます。

普段、作業をしている現場は地下で、湿度が90パーセントを超えるときもある過酷な環境です。何もなくても汗が噴き出すほどですが、さまざまな状況

今後の目標と、会社の 成長に対する想いを お聞かせください。

一つひとつの丁寧な積み重ねが、やがて「吉田工業なら任せたい」という、お客様からの信頼に繋がるでしょう。そして、その信頼が会社の業績となり、ひいては私たち社員に返ってくると信じています。まだ入社して1年未満で学ばべき点も多くありますが、ゆくゆくは一人で現場を任せてもらえるような存在になることが、私個人としての目標です。現場の管理だけでなく、他の社員が苦手なパソコンでの書類作成も私が担うべき役割。翌日の作業予定を現場で

とにまとめて印刷して渡すなど、自分が率先して動くことで現場全体をスムーズに回せるようになりたいと考えています。そうした小さな努力の積み重ねが、いつか必ず成長に結びつくと信じています。

コミュニケーションを軸に、多様な仲間と信頼関係を築き、大きな現場を動かしていく星野さん。その誠実な仕事ぶりと学ぶ姿勢は、会社の未来を担う大きな力となるに違いありません。

企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：12億円

※2023年3月時点

